

KKUNSTARZT では、昨年に引き続き 3 度目となる釣光穂の個展を開催します。釣光穂は、身近な日用品のかたちや陶芸史上のかたちを引用し、明るく優しい色彩の“あみもの”のような陶表現をするアーティストです。本展では、技法とモチーフの組み合わせを実験的にを行い、「イメージの変容」をテーマに制作した作品群で構成する予定です。お楽しみください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



マカロニ grn
2020
陶土・磁土・顔料
48×34×32cm

経歴

1991 年 兵庫県明石市出身
2014 年 京都市立芸術大学美術学部陶磁器専攻卒業
2016 年 京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻卒業
2020 年 金沢市卯辰山工芸工房 修了

主な展覧会歴

個展

2016 年 「うつわの標本」 KUNST ARZT / 京都
2019 年 「空中ひもづくり」 ルンパレンパ / 石川
2020 年 「ぶれいるーむ」 KUNST ARZT
2020 年 「Shut eye to see you.」 Lights gallery / 名古屋

グループ展他

2017 年 「ウォーホル美術」 KUNST ARZT
2018 年 「もう一つの工芸未来派」 銀座和光 / 東京
2019 年 「あざなえる縄のごとく」 みうらじろうギャラリー / 東京
2020 年 「Assemble - 集積する技法と身体 -」 伊丹市立工芸センター

2013 年 陶6展 / くらふとギャラリー集
2015 年 サイレントアクア 2015 / ギャラリー @kcua
2015 年 わん・碗・ONE 展 / 京都陶磁器会館
2015 年 日中韓現代アジア陶芸展 / 国際陶 甕城 (中国)
2016 年 プロセスのまわりみち展 / 大枝土蔵

2021 年 11 月 27 日 (土) から 12 月 5 日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

アーティスト・ステートメント

日常の中で目にするモチーフと、陶芸やものづくりの技法を組み合わせた作品を制作しています。技法や工程を分解し応用することで既存のイメージとは違った見え方を探りながら制作しています。陶芸の技法であるひもづくりを応用し、細く撚り合わせた土を積み上げた編み物のようなひもづくりや、ウォーホルの版画で知られるマリリンモンローに金太郎飴の技法を組み合わせるなど、完成された技法やモチーフのイメージを一度解体し組み合わせ構成し直すことで、人がものをつくる行為の楽しさや普遍性が感じられる作品を制作を目指しています。

展覧会コンセプト

展覧会は技法とモチーフの組み合わせを実験的に行い、イメージの変容をテーマに制作を試みる。陶芸の焼成による変容をはじめとして、技法やモチーフの分解と応用から、日常ともものづくりに対しての視点を多角的にする。



かえん org
2020 半磁土、顔料 40×130×130 mm



はち pnk
2020 半磁土、顔料 260×260×260 mm



キンタローマリリン pnk
2020 半磁土、顔料 hight 80 mm 2 pieces



伝言「ごはんですよ」
2020 半磁土、顔料 270×120×5 mm